

学ぶことの楽しさと厳しさを再認識した2年間



国際社会科学府 経営学専攻
博士課程前期 社会人専修コース
2015年修了

砂口 洋毅 さん

ソニー株式会社（当時）
国立研究開発法人
新エネルギー・産業技術総合開発機構
技術戦略研究センター（現在）

Q1 入学の動機を教えてください

入学当時、事業企画部門に所属しており、新規事業開発を担当していました。事業企画を行うにあたり、経験的に習得した知識だけをベースとするのではなく、体系的に整理された方法論を修得する必要があると考えました。それがYBSへ入学しようと思った動機です。

Q2 研究内容について

事業環境や経営資源をはじめとして、企業戦略に影響を及ぼす要素はいくつ也存在します。これらの要素は複雑に関連しあっており、全体を俯瞰して戦略に及ぼす影響理解することは非常に困難です。このような構造的現象を取り扱う方法論のひとつであるシミュレーションを利用して、経営戦略における意思決定を最適化する技法について、研究を行っていました。

Q3 在学中の仕事等との両立をいかに行いましたか

ビジネス・スクールは2年間のプロジェクトと捉え、在学中の週末はすべてプロジェクト活動に充てました。平日も、仕事以外の時間はYBSの研究活動に充てました。子供の学校行事に参加できないなど、家族には若干の迷惑をかけたかもしれません。

しかし、私自身は特につらいと思うことはありませんでした。苦勞と感じたことはなく、充実した2年間でした。

Q4 YBSでの「学び」が業務にどう活かされていますか

YBS修了後に転職して、現在は技術戦略立案に携わっています。業務上、深い理工系分野の知識が必要とされますが、そこに社会科学分野の知識が加わることによって、戦略立案における視点の幅が広がり、より効果的な技術戦略の立案が出来るようになったと思います。

Q5 YBSを志望する人へのメッセージ

YBSで学ぶことは、業務やキャリアプランにとって決して無駄にはなりません。

しかし、YBSで学ぶ最大の利点は、社会人として忘れがちな「学ぶ楽しさ」を思い出させ、「学ぶ方法」を教えてくれることではないかと思えます。

